

在宅医療・介護サービス利用にあたってのお願い

ハラスメントは、サービスの提供を困難にし、かかわった職員の心身に悪影響を与えます。状況によっては、契約条項や重要説明事項に基づき在宅医療・介護サービスの提供が終了となる場合がありますので、ご留意をお願いします。

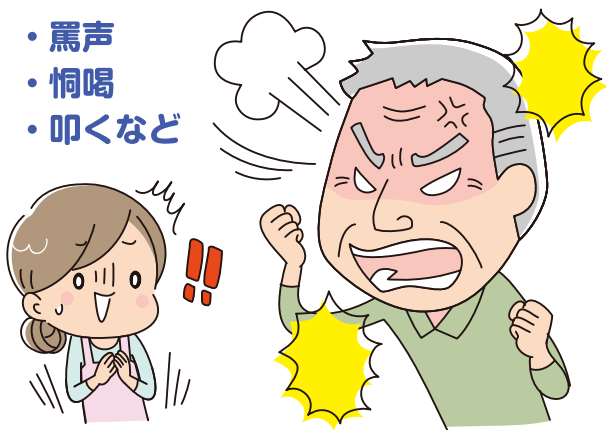
在宅医療・介護サービス利用者及び
ご家族の方からの以下の行為は



ハラスメント行為です

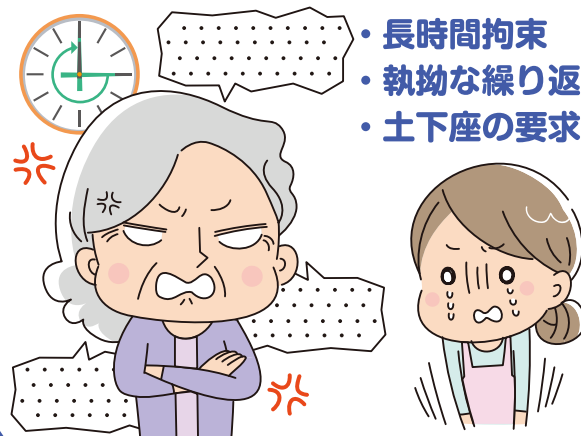
大声・暴言・暴力

- ・罵声
- ・恫喝
- ・叩くなど



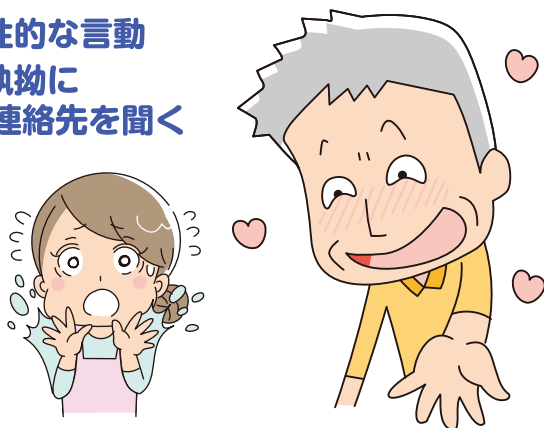
不当・過剰な要求

- ・長時間拘束
- ・執拗な繰り返し
- ・土下座の要求



セクハラ・つきまとい

- ・性的な言動
- ・執拗に連絡先を聞く



無断撮影・SNS投稿

- ・見守りカメラ等による不当な監視や命令
- ・SNSへの誹謗中傷の投稿





北区では、
利用者等からのハラスメント対策を義務化する
改正労働施策総合推進法の公布を契機に、
在宅医療・介護現場における様々な
ハラスメント対策に積極的に取り組んでいます。



在宅医療・介護サービス利用者及びご家族の方からの以下の行為は、
ハラスメント行為に該当し、利用者への継続的なサービス提供に
支障をきたす恐れがありますのでご注意ください。

ものを投げる



つばを吐く



体をたたく



大声で怒鳴る



理不尽な要求

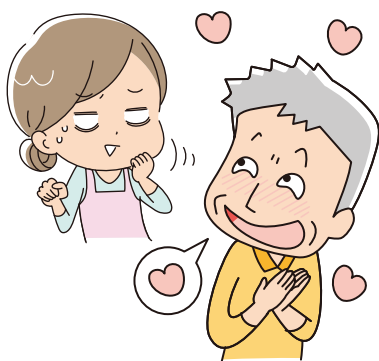
※業務外のサービス強要など



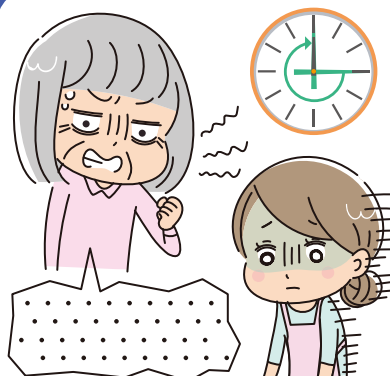
体に触る



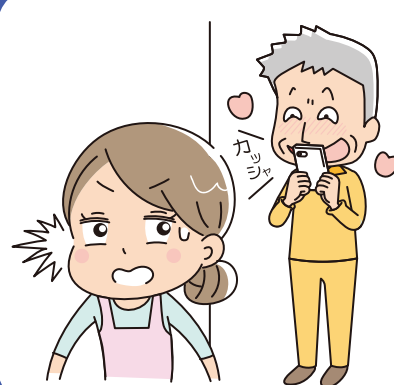
性的な話をする



長時間のクレーム



つきまとう



認知症や障害の症状が現れた言動や行動については、在宅医療・介護サービス事業者として、
よりよいケアにつながるよう、ケアマネジャー、主治医等関係機関と相談して対応いたします。